

電子整備員(1/2)

1 仕事の内容

電子整備員は、海上自衛隊が保有する電子器材及び関連器材の整備又はこれらに関する実技の指導、教育等を担当しています。このためハイテク技術の粋を極める機器を整備する電子整備員の仕事は、最もやりがいのある職種と言えます。江田島にある第1術科学校で、電気の基礎から学ぶので学歴や経験など気にする必要ありません。多くの女性自衛官も部隊で活躍中です。なお、潜水艦でも勤務できます。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、船務要員として約2年間護衛艦等及び陸上部隊で勤務の後、第1術科学校の電子基礎課程(2ヶ月)、引続き海士電子整備課程(4ヶ月)を経て、艦艇及び陸上部隊の電子整備員及びシステム整備員としての勤務となります。

3 主な勤務地

主な勤務場所は、護衛艦、潜水艦及び掃海艇等で、電子整備員及びシステム整備員として勤務します。また、システム通信隊、航空部隊の陸上施設、各種学校等、陸上での勤務も多く、「部隊が在る所に電子整備員在り。」と言われるほどです。



(レーダー指示器の整備)



(電子整備員課程の教務中)



(IDDNマイクロ機器の点検)

電子整備員(2/2)

4 取得可能な免許

- (1) 課程教育により付与される国家資格
- (2) 課程教育により受験できる国家資格

第1級陸上特殊無線技士

第2級陸上無線技術士、工事担任者AI第1種

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
ライフスタイル	教育隊(練習員等課程)	護衛艦等及び陸上部隊 (船務要員)	第1術科学校(電子基礎及び電子整備課程)	護衛艦 潜水艦 掃海艇等 (電子整備員、システム整備員)	システム 通信隊 航空部隊の 陸上施設 (電子整備員)	教育隊(初任海曹課程)		(電子整備員、システム整備員)	護衛艦 潜水艦 掃海艇等	
				システム 通信隊 航空部隊の 陸上施設 (電子整備員)	システム 通信隊 航空部隊の 陸上施設					

6 先輩からの一言



「電子整備員は器材整備(故障修理)において多面的思考が要求され、奥が深い職人的要素が必要である。このため多くの専門的配置があり、道は開かれている。」

「後輩よ、俺に続け!!」



(ユニークな電子整備の教官)